



## ロンドン しゃくなげ会

復興と日英の絆象徴県人会「継承の懸け橋に」

ロンドンしゃくなげ会会長 満山喜郎

除幕式ではホーランド・パークを管理する王立ケンジントン・チェルシー区のニコラス・ベジーブラウン区議会副議長が進行役を務め、クリストファー・バックマスター区長、林景一駐英国特命全権大使がスピーチし、午後2時46分に全員で一閃の黙とうをささげました。天皇陛下のお言葉の碑が設置された小さな丘で、大使は区長と固い握手を交わし、感謝の記念品を贈りました。参加者一同から拍手が湧き、冷気がやわらぎ温かみを感じられました。出席者も碑を訪れ、写真撮影などをしていました。気温一度、雪と風の寒さが、二年前の震災当時の気温・気候と重なり、被災された皆さまの気持ちを感じました。在英日本商工会議所や英国日本人会の代表ら百人以上の出席者からは日本と福島を思いやる気持ちが感じられ、深い感銘を受けました。わたしたちの古里福島県は、地震、津波、原発事故、そして風評という四重の被害を受け、この一連の惨事は街の姿形だけでなく、住民の暮らしや人生をも完全に壊してしまいました。そのような困難な状況下、心に希望の灯をともしてくれたのが、日本国内にとどまらず世界中から寄せられた温かい支援でした。ここ英国で特に印象的だったのは、震災復興の願いを込めて建設された福島庭園です。昨年七月の開園以来、うつくしま復興大使によるシャクナゲの植樹、三春町の小学生の訪問、国会議員の訪問などがあり、ロンドンしゃくなげ会のメンバーが媒体となり、福島とロンドンの絆を築く拠点となりました。震災から二年がたち、天皇陛下の感謝のお言葉を刻んだ石碑が建設され、復興への思いと日英の友情の絆を象徴し、永く展示されることとなりました。被災者、避難者の方々に元気と勇気を与え、早期復興に向けた大きな支えとなることでしょう。人と人との絆の大切さを心に留め、ロンドンしゃくなげ会が丸となり、福島の一層の復興につながるような活動を英国で続けていきます。ホーランド・パークとの親交を深め、今後も多くの来園者に訪問いただけるよう、福島や日本を感じられるようなアイデアを発案するなど、震災の記憶と日英の友情の絆を継承していく懸け橋となっていきたいと思ひます。



福島庭園の天皇陛下お言葉碑

<満山氏>福島県白河市大信の農家生まれ。小学4年生まで分校に通ったほどの田舎育ちである。1971年9月。単身渡英。以来、免税店を営みながら93年2月、県人会を設立した。「ふるさととは実に、ありがたいものです。外にいるほど身にしみず」。



★満山氏とミッチー



★トラファルガー広場でのジャパン祭り

## 英国から食の安全アピール。米・ラーメン販売ー福島県人会

### ロンドンの「ジャパン祭り」メイド・イン・福島完売

【ロンドン時事】ロンドン中心部の観光名所トラファルガー広場で10月5日、在英日本人コミュニティのイベント「ジャパン祭り」が開かれ、東京電力福島第1原発事故による農産物の風評被害を払拭（ふっしょく）し、世界に福島の食の安全性をアピールしようと福島県人会（満山喜郎会長）が出店を設け、県内産の米などを販売した。ジャパン祭りは、英国市民に日本文化を紹介することを目的に、2009年以来毎年開催されている。毎回盛況で、前回は約8万人が来場した。出店では、全国農業協同組合連合会（JA全農）と連携して入荷した米のほか、桃、リンゴのジュース、喜多方ラーメンなどを、ボランティアの県人会メンバーらがはっぴ姿で販売した。収益金は福島県の「東日本大震災ふくしまこども寄付金」に贈る。



## パラグアイ 日系人・パラグアイ人が一つになって被災者を応援

移住地の大豆で作った豆腐を被災地へ

パラグアイから提供された遺伝子組み換えでない大豆は、従来から日系農家と大豆の取引を行っていた日本の業者（株式会社ギアリンクス、岐阜県美濃加茂市）の協力を得て豆腐に加工され、被災地での配布が始まっています。パッケージに「心は一つ パラグアイ国民は日本を応援します」のメッセージが描かれた豆腐の製造は100万丁まで続けられる計画です。

## 繋げよう 海外日系人の想いを東北被災地に



## ジュネーブ 日本倶楽部

### 4ème Fête japonaise du Japan Club of Geneva

Dear Michi

2013年10月6日(日)、ジュネーブ最大の日本紹介イベント「日本祭り」がカルージュ市にて開催されました。今回のテーマは「見つけよう!ニッポン」。日本文化の紹介と伝承を目的に、地元の方々にさらに日本を知っていただくよう、さまざまなお祭りイベントが行われました。当日は好天に恵まれ、約1万人の方々にご来場いただき、お祭りを通して表現された日本人の心の在り方と日本文化に触れていただき、日瑞間の国際親善の一助を果たせたのではないかと思います。2014年は日瑞国交樹立150周年にあたり、さらに盛大な日本祭りの企画を予定しています。今後も日本祭りへのご参加とご支援をお願い申し上げます。

河合悟志

記事:「ジュネーブ日本倶楽部(JCG)会報「BONJOL!れまん」2013年11月号より



### Congratulations!!

- \* 岡島舞子 Aoi College入学
- \* 相澤和久 宮城県農業大学校入学
- \* 柴崎透江 結婚(旧姓・南雲)
- \* 関山美砂世 結婚(旧姓・小島)
- \* 高田亮太郎 結婚
- \* 村田主喜 ドラえもん作文コンクール・宮川賞受賞
- \* 金丸 連 スキー検定1級合格
- \* スナイダー真澄 Twilight・traveler社 社長・女兒出産



## トロント 「新企会」

新企会会長 松本真二郎(旭日単光章を叙勲)

新企会は1978年に設立された独立した非営利団体で、メンバーのネットワークを通じそれぞれのビジネスの発展・向上を目指す事を目的としています。当初はカナダ移住の日本人企業家の小さな集まりだった新企会も、現在では100を超える個人企業家の集まりとして着実に成長しています。その成長に呼応して、会員は増え続け、活動もより活発になり、活動内容も私達の地域社会とカナダ・日本間のつながりに対しての利益に貢献することが中心となっています。その一環として新企会は1990年に奨学金制度を設け毎年5名の将来有望な学生達に一人\$1500を援助し、1995年に非営利団体としての地位を確立しました。現在多様な分野の中小企業からなる会員とその家族、そして友人、その他多岐に渡り新企会に興味のある人々に代表されています。現在活動は日系文化会館、トロント商工会などのカナダと日本を繋ぐ団体との活動にも積極的に参加、会員の中には Canadian Chamber of Commerce や Toronto Board of Trade のようなカナダのビジネス団体でも活躍しています。新企会は松本夫妻が所属するロータリークラブ・フォレストヒル支部と提携して世界に目を向けた活動にも協力している。ポリオ(小児マヒ)撲滅運動、地雷撤去運動などがその一例である。この基金イベント会場は、毎年のように松本夫妻が自宅を開放して150名前後の参加者を迎え入れ、来場者からのすべての会費をロータリークラブに寄付してきた。新企会は将来、「世界日系人移民センター」をハワイに設立したいと考えています。

<松本氏>1985年以来、ビジネス経営者およびプロフェッショナルのグループ「新企会」の活動に関わりを持ち、この10数年間は、会長、副会長を務め、現在も会長として奮闘中だ。とくに新企会奨学金制度の充実、ロータリークラブと提携してのチャリティー活動に力を注いでいる。新企会奨学金制度は今から24年前に発足。将来、カナダ日系社会および日加関係に積極的に貢献する志を持つカナダ在住の学生を対象に、あらゆる分野で有望な人材の育成を目的とした制度である。

### 東日本大震災被災宮城教育大学の学生へ奨学金が贈呈されました



被授与者を代表して、教職大学院の被災学生からは、「震災で金銭的、精神的にダメージを受けて、勉学を諦めようと考えたこともありましたが、このような困難な時だからこそ、広い知見で現状をしっかりと見据え、新たな教育ができる教師も必要だと思い大学院に進学しました。ここにいる3人の学生も同じ気持ちで学生生活を送っております。常に感謝の気持ちを忘れず、将来を担う子どもたちを育てていきたいと思ひます。」との感謝の言葉がありました。

奨学金受賞者 コール・ジョンストン

### 5ive Planets

カナダ出身のコールさんは生後2週間で家族と共に日本へ渡り、大学入学を機にカナダに帰国。現在は、大学のサークルなどで日本語や文化を教える傍ら、東日本大震災後、東北支援のためにコールさんのお母さんであるパトリシアさんが立ち上げた"5ive-Planets"で活動している。"5ive-Planets"は私の母が立ち上げた団体です。私は高校まで横浜に住んでいて大学からカナダに戻ったんですが、家族はずっと日本で暮らしています。私の母は日本に来たばかりの時に東北へ住んでいたことがありましたが、私には大船渡市出身の"日本のおばあちゃん"と呼んでいる人がいます。私たち家族は東北ととても強い繋がりがあったので、震災後何かしたいと思ひ活動を始めました。東北に伝わる郷土料理のレシピ本を10月に出版しました。この地方には地域独自の素晴らしい料理がたくさんあります。そういうものを形にして残しておきたいと思ひました。これは日本にいる私の友達がいっしょに思ひました。地元のみなさんの協力で作ることができました。

